

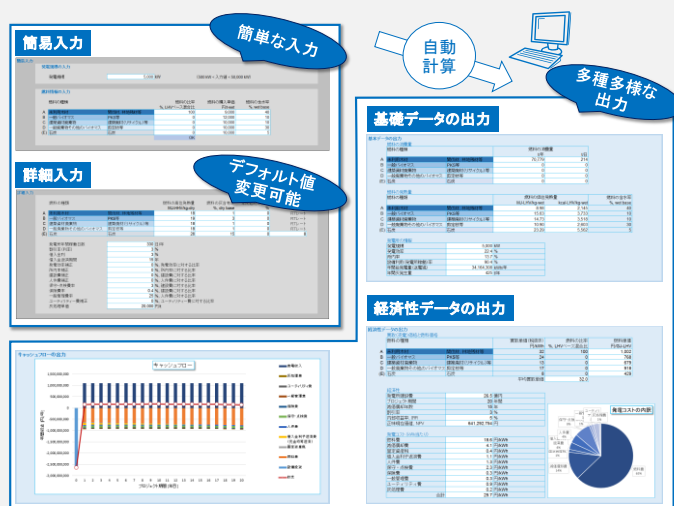
木質バイオマス発電は儲かるのか？

木材加工・特性研究領域 柳田 高志

再生可能エネルギーの導入を促進するため、電力の固定価格買取制度（FIT）が始まりました。この制度を利用して、これまでほとんど利用されなかった林地残材や間伐材等を燃料とする発電所の建設が進められています。こうした木質バイオマス燃料とする発電事業の経済性を評価するためには、煩雑な計算が必要です。森林総合研究所では、全国の発電所から収集したデータに基づいて、種々のコストを推計・統合して、簡単に経済性評価が行えるツールを開発しました。これにより、発電規模や燃料バイオマスの種類、買取価格等が違ふ場合の木質バイオマス発電事業の経済性をシミュレートし、事業採算性を簡単に推計することができるようになりました。



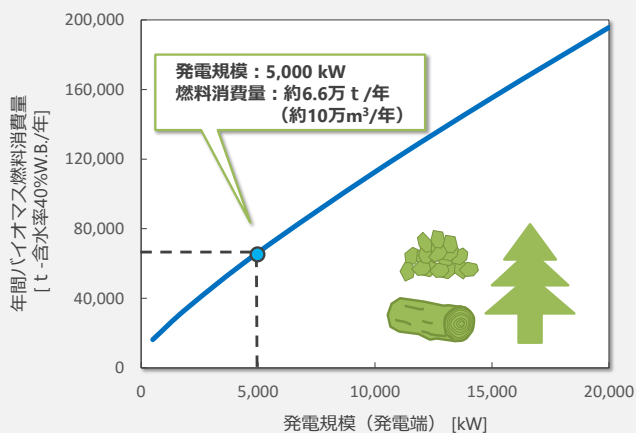
■ 木質バイオマス発電事業採算性評価ツール



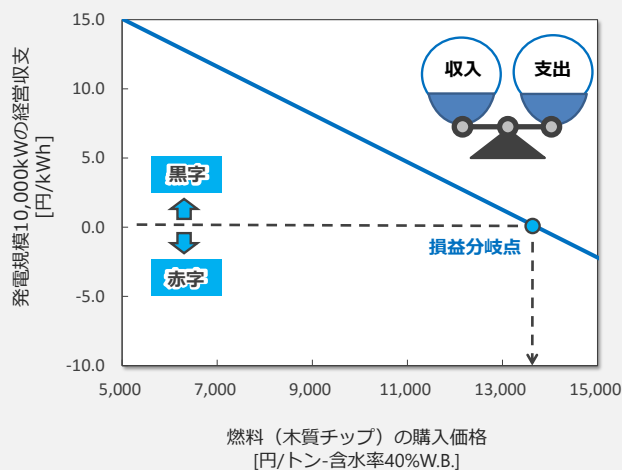
希望者に無償提供

■ ツールを使った評価事例

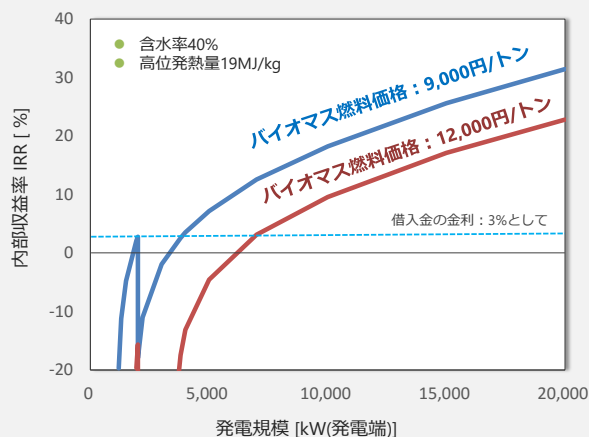
発電規模と燃料消費量の関係



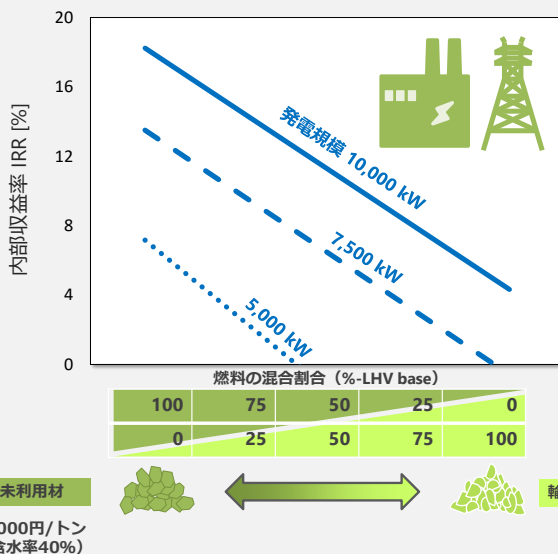
燃料価格と経営収支の関係



発電規模と事業性の関係



燃料を混ぜた場合の事業性



* これらグラフの値は、設定条件により変化します